

令和7年度事業計画

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

県民の健康管理、特にがんをはじめとする生活習慣病の予防、早期発見を推進するため、がん対策基本法に基づいた一元的管理によるがん検診事業や県民健康センターでの健康診査事業に取り組むとともに、健康管理に関し必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額） 682,798千円

(1) がん検診事業

①精度管理の維持・向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、計画的な機器更新等を行い、その一層の向上に努める。

- ・胃がん検診8号車 I・I（イメージインテンシファイヤー）の交換
- ・肺がん検診ワークステーションの更新
- ・乳がん検診デジタル化の推進（読影4施設追加）
- ・乳がん検診車更新に向けた準備（補助金申請・整備等）
- ・がん検診料（集団・個別）の令和8年度改定にむけた検討

②受診者確保事業

市町を超えた広域的な検診（広域検診）の促進や特定健診実施事業者との連携強化により受診者増を図る。

- ・市町受診券を利用した事業所検診の実施（小規模事業所出前検診）
- ・特定健診とがん検診をセットにした職域検診の実施

③業務効率化

- ・市町と協力した集団検診会場集約化等による効率化（胃がん・子宮がん）

(2) がん検診受診勧奨事業

がん検診や精密検査、特定健診の未受診者を対象に勧奨を行い受診率向上を目指す。

勧奨人数：3,500人（6年度見込み：3,300人）

- ・市町の要望に応じた電話によるがん検診・特定健診の受診勧奨
- ・精密検診未受診者への電話による受診勧奨
- ・精密検診対象者への結果通知における受診勧奨チラシの同封（肺がん、大腸がん）

がん検診受診者数

(単位：人)

区 分	7年度計画		6年度見込み	
	集団	個別	集団	個別
胃がん	6,900	10,500	7,400	10,600
大腸がん	31,500	20,600	30,200	19,850
肺がん	X線	26,200	24,000	25,450
	喀痰	200	100	200
子宮がん	8,900	15,700	8,400	16,250
子宮がん(妊婦)	-	4,300	-	4,350
乳がん	10,400	10,500	9,900	11,100
計	84,100	85,700	81,550	84,850
合 計	169,800		166,400	

(3) 健康情報発信事業

がんをはじめとする健康に関する正しい情報の発信・普及啓発に努める。また、啓発活動や取り組み状況を広く発信し、協会の認知度向上を図る。

- ・啓発イベントにおけるピンクリボンアドバイザーの活用
- ・県のがん情報ポータルサイト「がんネットふくい」におけるがん情報の提供や統計等の掲載

(4) 健康診査事業(県民健康センター)

受診状況の把握・分析を行い、受診者のニーズに応えた特色ある健診内容や受診環境を積極的にPRすることにより受診者確保に務めるとともに、受診者の意見や要望を積極的に把握し、更なる健診内容の充実、利用者の満足度向上に努める。

①受診者確保事業

受診団体・企業および受診者に向けた健診案内の強化により、受診者増を目指す。また、事業者や受診者のニーズに合わせた健診や特定保健指導の提供により満足度向上を図る。

- ・団体・企業向け施設案内パンフレットの送付
- ・受診者向け健診・オプション内容のチラシの送付
- ・特定保健指導における遠隔面談の実施

②利用者の利便性向上

受診者の要望に応じ、健診体制の整備に努め利便性の向上を図る。

- ・御意見箱による受診者の意見・要望の把握を基に、業務内容を改善し発信

コース別受診者数

(単位：人)

コース名	7年度計画	6年度見込み
総合	1,300	1,290
一般健診	3,800	3,770
特定健診	20	20
特定保健指導	280	270
その他の健診	300	290
計	5,700	5,640

(5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

県民健康センターにおいて、一般県民を対象に健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数：310人（6年度見込み：310人）

(6) 啓発・キャンペーン事業

「がん征圧月間」の9月および「ピンクリボン月間」の10月をがん検診啓発月間とし、イベントなどを集中的、連続的に展開する。また、キャンペーンを通じてがん患者等の支援を行う。

①がん征圧月間（9／1～30）

他団体や企業と連携協力し、がん征圧月間広告等の掲示依頼、パネルの貸出、マスコミを利用した広告、広報活動等を強化して実施する。

②「ピンクリボン月間」（10／1～31）

医師会やピンクリボンの会等と連携して、乳がん撲滅を目指した啓発活動を実施する。

③県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントや広報活動への協力、市町が開催する健康フェアへの参加等を通じ、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

④日本対がん協会福井県支部としての活動

リレー・フォー・ライフ等のイベント活動や患者支援活動を通じ啓発活動を実施する。

⑤結核予防会福井県支部としての活動

結核・呼吸器感染症予防週間（9／24～30）を中心に、啓発ブースの設置や結核・呼吸器感染症予防ポスター等の配布、マスコミを利用した広告など啓発活動を実施する。

⑥講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、研修会を開催し専門分野に関する情報提供をする。

⑦ふくいSDGsパートナーとしての活動

県民の健康づくりを支援するため、がん検診に関する啓発活動を実施する。（リレー・フォー・ライフイベント、ピンクリボンライトアップ活動）

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくづくり推進事業

県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくづくりを推進するため、各種教室の開催や施設の提供を行う。また、ホームページやSNS等を活用し施設情報を広く周知する。

事業経費（総額） 371千円

（1）健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業

生涯を通じた積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立を目指して健康増進各種教室を実施する。また、女性や親子を対象とした健康づくり教室やイベントの実施、事業所向け出前講座の実施による利用者増に努める。

また、市町の介護予防事業に作業療法士を派遣し、機能回復訓練や介護予防体操等を実施する。

健康増進各種教室利用人数： 290人（6年度見込み 250人）

運動障害回復訓練利用人数： 2,440人（6年度見込み 2,400人）

（2）施設の提供事業

健康増進を目的とした会議室や研修室等の貸出、健康に関するイベント教室等でのエントランスホールや運動指導室の利活用に努める。また、安全安心な施設の管理運営に努める。

利用者数： 110人（6年度見込み： 70人）

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業、健康づくり・体力づくり・生きがいくくり推進に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 2, 9 1 2 千円

（1）研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催する。また学会等へ参加し研究成果を発表する。

令和7年度計画：25回（6年度見込み：25回）

（2）広報活動

がん検診事業、県民健康センター管理運営事業の周知、PR活動を行う。

- ・ホームページの掲載内容、デザイン等見直しによるリニューアルの検討
- ・温泉・スポーツ施設指定管理者と連携した広報活動

4. 法人管理

健康管理協会の法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 5, 5 4 8 千円